

藤沢市

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 開催記録集



2022年（令和4年）3月



藤沢市

未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を終えて



藤沢市長

未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック
藤沢市支援委員会 委員長

鈴木恒夫

2015年6月、東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が江の島で開催されることが決定され、本市は歓喜に沸きました。その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大会史上初の1年間の延期が決定されたことにより、落胆と不安に見舞われ、大会直前においても感染拡大により開催を危ぶむ声も多くありましたが、2021年7月に東京2020大会を無事に開催することができました。セーリング競技は無観客での開催となったものの、世界中からやってきたトップセーラーにより熱戦が繰り広げられ、その模様はメディアを通じて世界中に発信されました。大会期間中を通して、選手や大会関係者の事故や感染拡大などはなく、盛り上げとおもてなしとともに安全安心な大会運営の面でも、開催会場自治体としての役割を果たすことができました。大会に向けた準備や大会運営などに関わられた全ての皆様に、厚く御礼を申し上げます。

さて、本市では市民参加型の大会実現とレガシーの創出を旗印に、「シティキャストフジサワ」や「藤沢ビッグウェーブ」の皆様を始め、多くの市民の皆様と想いを共有し、大会の盛り上げやハード面・ソフト面からのまちづくりを進めることができました。市民一丸となった取組を通じて、「藤沢市を思う気持ち」はますます育まれ、これからの藤沢のまちづくりへの気運を盛り上げることができたと考えております。

ここに、報告させていただく記録は、セーリング競技の江の島開催が決定してから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなかで実施された本大会の開催に至るまでの気運の盛り上げ、おもてなし、3か国を受入れた事前キャンプ、安全安心な大会運営への支援など、市民の皆様、関係団体及び行政による、開催会場自治体としての一連の活動と成果・レガシーを取りまとめたものです。

これは、1964年大会に続き、本市において2度目のオリンピック開催となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、私たち藤沢市民が熱い気持ちで取り組んだレガシーと言える活動記録です。今を生きる市民の皆様はもとより、次世代、また、その先の未来の藤沢市民の皆様にも、是非ともご覧いただければ幸いです。

2022年（令和4年）3月

巻頭あいさつ ～東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を終えて～

東京2020大会に向けたあゆみ	2
I 大会の結果概要	4
1 東京2020大会の結果概要	5
2 セーリング競技の結果概要	5
3 セーリング競技選手の成績等	7
4 セーリング競技以外の藤沢市ゆかりの選手の成績等	8
II 大会期における取組	9
1 気運醸成及びおもてなしの取組	10
2 東京2020聖火リレーに関する取組	23
3 事前キャンプの受入れ	26
4 安全安心の取組	32
5 大会後の取組	34
6 大会を終えて	41
III 大会準備期間における取組	46
1 東京2020大会に向けて	47
2 支援方針に基づく取組	51
① 気運を高める取組とスポーツ推進に関する取組	52
② ボランティア等の市民参加に関する取組	68
③ 健康増進に関する取組	79
④ 文化・教育に関する取組	80
⑤ 産業・観光振興に関する取組	86
⑥ 環境に関する取組	87
⑦ 共生社会の推進に関する取組	89
⑧ 救急・医療体制に関する取組	91
⑨ 安全・安心に関する取組	92
⑩ 周辺環境整備に関する取組	93
IV 支援委員会・各種団体等の取組	95
1 未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会	96
2 支援委員会の各構成団体における主な取組	97
3 市内各種団体等における主な取組	113
V 参考資料	123



東京2020大会に向けたあゆみ

2013年1月に東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会から国際オリンピック委員会（IOC）に提出された立候補ファイルでは、セーリング競技の開催会場は、当初、東京都江東区の若洲が候補地となっていました。しかしながら、隣接する羽田空港の航空管制上の制約があり、競技の特性として不可欠となる空撮が困難であるなどの課題が判明したことから、同地での競技開催の調整が困難な状況となり、東京都や公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、「組織委員会」）、IOC、オリンピック放送機構（OBS）等の関係機関の間で、代替会場となる既存施設の調査検討が行われることとなりました。

代替会場となる既存施設については、全国のヨットハーバーを対象に技術的な調査検討が行われるとともに、IOCの視察なども踏まえ調整が行われた結果、難易度の高い風や波など優れた競技環境を有し、東京からの距離も近く航空管制への影響も少ないこと、また、1964年東京大会のレガシーにもなっていることなどから、江の島ヨットハーバーが会場として選定されました。

その後、2015年6月のIOC理事会に報告され了承を得て、東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の開催会場が江の島に正式に決まりました。1964年の東京大会に続き、再び江の島を舞台にセーリング競技が開催されることは、本市としても、大変名誉なことであり光栄なことでありました。



2015年6月 江の島が開催会場に決定

今大会は、新型コロナウイルスの影響により、大会史上初の1年延期となりましたが、感染拡大が続くなかで開催された2021年夏の大会でも、無観客開催となるなど、その影響は大きく、本市が主体となって取り組む大会関連のイベント等も中止や縮小を余儀なくされました。

本記録集は、このような状況下で開催された本大会の開催に当たり、市を挙げて歩んできた取組の記録です。

本市では、江の島が開催会場に決定したのち、市内19の関係団体で構成する「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」において、市民参加型の大会実現とレガシーの創出を柱に、「地域と市民が元気になること」を活動目標とする支援方針を掲げ、市内関係団体や、神奈川県、組織委員会、競技団体等と連携し取組を進めてきました。



2020年夏季大会の開催都市が東京に決定したことを受けて、2014年6月に記念フォーラムを開催

年月日	内容
2013年(平成25年) 9月8日	<ul style="list-style-type: none"> ■ I O C総会において、2020年夏季大会の開催都市に、東京が選ばれる。 〔当初の開催計画では、セーリング競技の開催会場は、東京都江東区若洲〕
2014年(平成26年) 1月23日 4月17日 8月5日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「2020年東京オリンピック・パラリンピック藤沢市庁内推進会議（会長は市長）」を設置する。 ■ 市民協働組織「未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」（以下、「支援委員会」）を設置する。 ■ 支援委員会において、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会藤沢市支援方針」（以下、「支援方針」）を策定する。
2015年(平成27年) 6月8日 7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>I O C理事会において、東京2020オリンピック・セーリング競技会場を江の島とする案が承認される。</u> ■ セーリング競技の江の島開催に伴い、支援委員会において、会議体の名称を「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」に変更する。
2016年(平成28年) 4月1日 7月20日 8月15日～20日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市において、「東京オリンピック・パラリンピック開催準備室」を設置する。 ■ 東京2020オリンピック・セーリング競技が江の島で開催されることが決定したことを受け、支援方針を改定し10本の柱等を位置付ける。 ■ リオデジャネイロオリンピック競技大会を市長と職員3人が視察する。
2017年(平成29年) 3月22日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市において、支援方針に位置付ける取組を進めるため、「東京2020大会に向けた庁内アクションプラン」を策定する。
2018年(平成30年) 4月1日 9月9日～16日	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」（以下、「藤沢ビッグウェーブ」）が始動する。</u> ■ セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018 が開催される。
2019年 (平成31年・令和元年) 8月25日～9月1日	<ul style="list-style-type: none"> ■ セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019〔READY STEADY TOKYO - セーリング（オリンピックテストイベント）〕が開催される。
2020年(令和2年) 3月24日 4月2日 9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、I O C及び組織委員会等の関係者間における協議により、東京2020大会の延期が決定される。</u> 〔3月30日に延期後の大会開催日程が決定〕 ■ セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2020の中止が決定される。 ■ 延期後の聖火リレーの開催日程が決定される。
2021年(令和3年) 6月11日 6月28日 7月8日 7月23日～8月8日 8月16日 8月24日～9月5日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京2020オリンピック聖火リレーの神奈川県での公道走行中止が決定される。 ■ 本市で東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニーが開催される。 ■ <u>東京2020オリンピック競技大会における東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の競技会場は無観客開催が決定する。</u> ■ <u>東京2020オリンピック競技大会が開催される。</u> 〔セーリング競技開催：7月25日～8月4日〕 ■ 東京2020パラリンピック競技大会における全競技会場の無観客開催が決定する。 ■ 東京2020パラリンピック競技大会が開催される。